

令和2年度一学期始業式式辞

新しい年度の始まりにあたり、お話しします。

昨日の入学式は、皆さんありがとうございました。新2・3年生の皆さんの準備のおかげで、1年生が晴れ晴れと入学式を迎えることができました。

世の中は、危機的状況にあります。ここにいるメンバー全員で、最高のスタートを切ることが出来たと思います。本当にありがとうございました。

さて、最初に、新2・3年生に確認です。昨年度1年間繰り返しお話ししてきたことを思い出してください。

一つ目は、君たちはなぜ、学ばなければならないのか？について、自分なりの答えを見つけてもらいたい。ということ。

二つ目は、一日一日の積み重ねを大切にしてほしいということ。

三つめは、自分の善さに気づき、自分を大切にすること。そして、それと同時に、他人を認め、その命も同じように大切にすること。

令和2年度はこの三つのことを進化させました。

今年度は、学校経営方針に大間GP・大間グラデュエーション・ポリシーを掲げました。GPとは、教育の目標を具体的で検証可能な形に示したもので、本校の卒業生が備えておくべき資質（キー・コンピテンシー）を述べたものです。大間高校では、授業はもちろんのこと、全ての教育活動を通して次の5つの能力の伸長と獲得を目標とします。

- (1) 自己肯定力：自分の長所・短所の両面を理解し、他者の存在も価値あるものと認め、自他を愛し、よりよい自分の人生を生きようと前向きに努力する力
- (2) 実行する力：積極性と目的意識を持ち、自分のやるべきことを自分の意志で計画を立て、継続的に実行し、達成する力
- (3) 考え抜く力：目に見えない問題に対しても想像力をもち客観的に分析し、課題を明確にして行く力とその解決に向けた工程を計画し、柔軟な思考と創造力をもって完遂する力
- (4) 協働する力：ルールや約束を守り、考え方や立場の違いを理解しつつ自分の意見をわかりやすく伝えるとともに周囲を信頼して適切に働きかけ、目的達成に向けてチームとしての役割を果たす力
- (5) 郷土を愛する力：地域の自然、歴史、文化、産業と生活等を知り、地域の課題に気づき、教科で学ぶ知識と地域との関係を深く理解するとともに地域に愛着を持ち、自分の成長と地域の未来に貢献しようと行動する力

新入生には昨日、新2・3年生には、本日、本校の経営方針を配付しました。この中で、評価の観点と尺度をルーブリックに示しています。再度、確認してください。

さて、学校経営方針は、皆さんに対する学校としての契約書のようなものです。この方針の下、教職員、生徒が一丸となって、魅力的な学校を作っていきましょう。

最後に、もう一つ、報告があります。今年度から、性別によらない名簿を導入しました。「男らしく」「女らしく」という価値観もありますが、これからの大間高校は、「人間らしく」を第一に目指します。

まずは、一学期の終わりには、新型コロナウイルス感染症も収束し、そして、皆さんが、一層魅力的になっていることを願い、新学期の式辞（あいさつ）といたします。

令和2年4月8日
青森県立大間高等学校
校長 森田 勝博